

オオハマボウ

か めい
科名 アオイ

がくめい
学名 Hibiscus tiliaceus

べつ めい
別名 ユウナ、ヤマアサ



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶ
分布 かごしま たねがしま やくしまいなん おきなわ
鹿児島 (種子島・屋久島以南)、沖縄、
おがさわら
小笠原

は かたち
葉 の 形 ハート形^{がた}

は ふち
葉 の 縁 ぜんえん きよし
全縁、鋸歯

は さき
葉 の 先 えいせんけい
鋭尖形

は しゆるい たんよう
葉 の 種類 単葉

は つきかた ごせい
葉 の 付方 互生

は きふ がた
葉 の 基部 ハート形

み しゆるい さくか
実 の 種類 蒴果

はな がくいろ きいろ
花・萼色 黄色

せい
めい
明 かいがん さでいち は じょうりよく しょうこうぼく たか くらい は まる
海岸の砂泥地によく生える常緑の小高木で、高さ5-10m位になります。葉は丸いハ
ート型^{がた}で先はやや尖^{とが}っています。葉の縁は全縁または細かいギザギザ^{きよし} (鋸歯) があり表面は
こうたく ちよつけい くらい まる きいろ はな
光沢があります。直径10 cm位の丸くて黄色い花をつけます。